様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和 ７年　６ 月　23 日

久留米市長　　殿

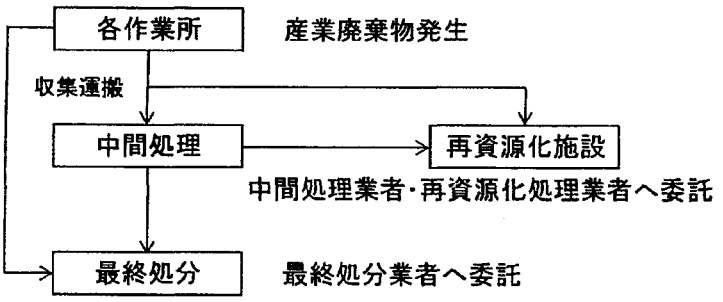
提出者
福岡市博多区博多駅東3-14-1
住　所　T-Building　HAKATA　EAST
氏　名　株式会社 淺沼組 九州支店
執行役員支店長 [redacted]
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　092-411-0636（代表）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　淺沼組　九州支店
事業場の所在地	~~福岡市博多区博多駅東3－14－1　T-Building　HAKATA EAST~~ 久留米市内事業場
計画期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	一般土木建築工事業
②事業の規模	令和6年度工事完成高　126.2億円
③従業員数	82人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（　令和6年度　）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	排出量	別紙　t	別紙　t
	（これまでに実施した取組） 廃棄物の減量、リサイクルに取り組んでいる。 資材搬入時の梱包の軽量化について依頼・指導している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	排出量	別紙　t	別紙　t
	（今後実施する予定の取組） 排出事業場での減量化とリサイクルの推進に取り組む。 社員の環境意識の向上に取り組む。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ダンボール、金属、プラスチック、廃石膏ボード等 廃棄物の品目ごとにコンテナを設け、分別保管を徹底している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後もさらに取り組みを強化する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（　令和6年度　）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 実施無し		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 実施予定無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（　令和6年度　）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 実施無し		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 実施予定無し		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和6年度　）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

実施無し</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

実施予定無し</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和6年度　）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

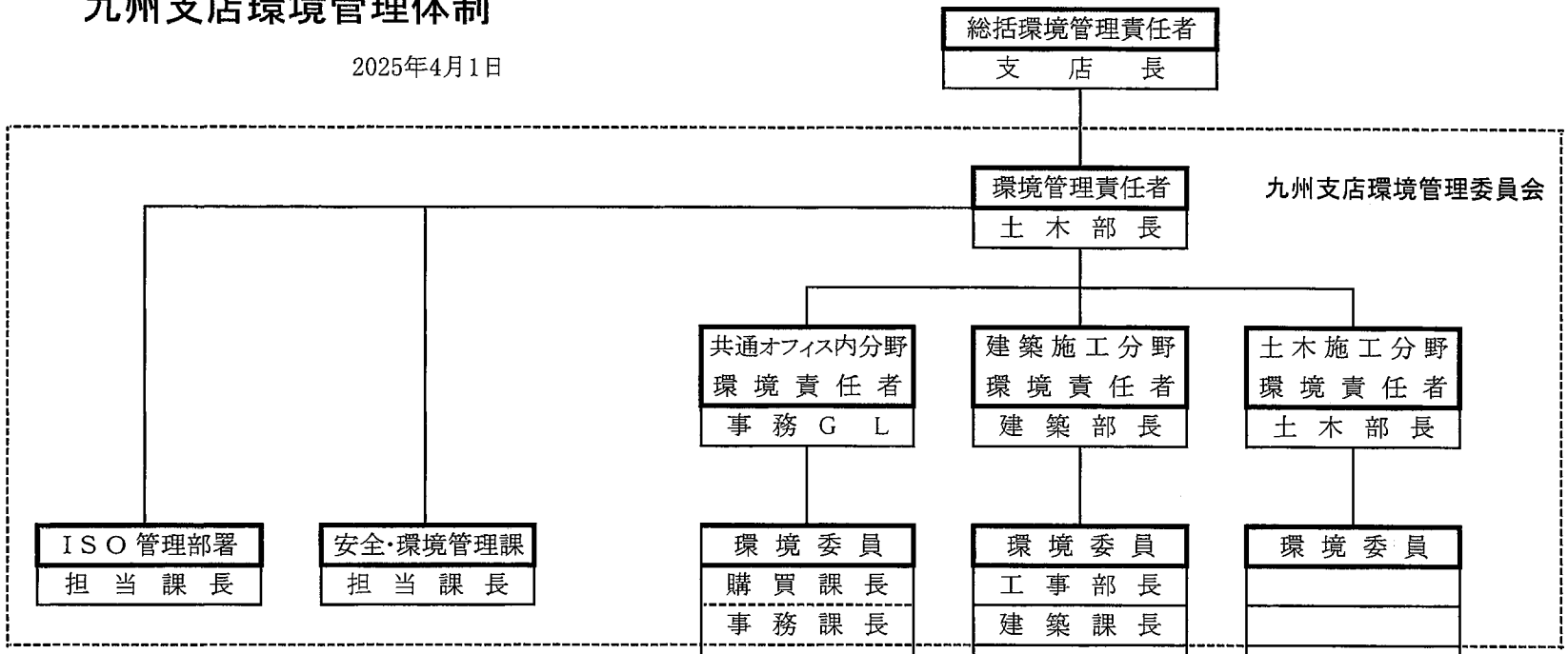
委託する業者の選定を重視している。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="3">
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）

委託する運搬・処理業者の優良認定・ 実績等について調査し選定を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

九州支店環境管理体制

2025年4月1日



共通ｵﾌｨｽ内分野:支店内担当

建築施工分野:建築作業所担当

土木施工分野:土木作業所担当

九州支店環境管理委員会	
委　員　長	土　木　部　長
副 委 員 長	建　築　部　長
委　　員	工　事　部　長
	購　買　課　長
	事　務　Ｇ　Ｌ
	事　務　課　長
	設　備　課　長
事　務　局	安全･環境管理担当

産業廃棄物処理計画書（第２面～第５面）別紙

単位：トン（t）

①現状【前年度(令和6年度)実績】 ②計画【目標】		産業廃棄物の種類													排出量合計
		廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃石膏ボード	がれき類	コンクリートがら	アスファルトがら	混合廃棄物（管理型含む）	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	がれき類（石綿含有）	廃石綿等（特管）	
①現状	排出量	113.8	7.7	99.3	25.9	41.0	165.0	3,623.2	340.4	11.7	14.1	3.0	42.9	2.0	4,490.0
②計画	排出量	75.0	5.0	45.0	20.0	30.0	50.0	250.0	150.0	8.0	10.0	0.0	0.0	0.0	643.0
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
①現状	全処理委託量	113.8	7.7	99.3	25.9	41.0	165.0	3,623.2	340.4	11.7	14.1	3.0	42.9	2.0	4,490.0
	優良認定処理業者への処理委託量	113.8	7.7	99.3	25.9	41.0	165.0	499.0	47.3	11.7	14.1	0.0	39.2	2.0	1,066.0
	再生利用業者への処理委託量	113.8	7.7	99.3	25.9	41.0	165.0	3,623.2	340.4	11.7	14.1	0.0	0.0	0.0	4,442.1
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
②計画	全処理委託量	75.0	5.0	45.0	20.0	30.0	50.0	250.0	150.0	8.0	10.0	0.0	0.0	0.0	643.0
	優良認定処理業者への処理委託量	75.0	5.0	45.0	20.0	30.0	50.0	125.0	50.0	8.0	10.0	0.0	0.0	0.0	418.0
	再生利用業者への処理委託量	75.0	5.0	45.0	20.0	30.0	50.0	250.0	150.0	8.0	10.0	0.0	0.0	0.0	643.0
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組